

2011年11月16日朝日新聞

# 原発期限まで稼働

## 関電 4基 定検入り遅らす

関西電力は15日、稼働中の原発4基の定期検査入りを従来の予定から6日〜19日遅らせ、すべて法定期限いっぱいまで運転を続けることと発表した。電力需給が逼迫するなか、供給力を上積みするための措置という。原発は電気事業法で、最

長でも13カ月ごとに定期検査をするよう義務づけられている。検査入りを遅らせるのは、高浜2号機（検査入り予定11月18日）、美浜2号機（同11月29日）、大飯2号機（同12月5日）、高浜3号機（同12年2月14日）の4基。予定よりそれぞれ7日、19日、11日、6日稼働を延ばすことにした。（笹川翔平）

## 老朽化の原発 専門家ら審査

経済産業省原子力安全・保安院は15日、運転開始から40年で事故を起こした東京電力福島第一原子力発電所の影響で、高経年化（老朽化）した原発の安全確保に関心が高まったとして、専門家を集めた意見聴取会を29日に設けると発表した。

審査の主な対象は、来年3月と4月にそれぞれ運転開始30年を迎える四国電力伊方2号機と東電福島第二1号機、7月に40年を迎える関西電力美浜2号機。

## 知事の関与 改めて否定

「を調査した第三者委員会の郷原信郎委員長らの質問状に、「古川康・佐賀県知事や当社の社員が否定している」などと文書で回答し、発表した。知事発言がやらせの発端だったとした第三者委の見解を改めて否定した。